

令和8年度

曹洞宗新潟県第四宗務所青壮年年会 研修会

どなたでも
ご参加できます！

演題 「 自利利他円満 」

浄土真宗の宗祖・親鸞聖人は、自らを「煩惱具足の凡夫」と表現されました。
「私自身も自分中心で、煩惱に振り回されている」と語る講師が、なぜ子ども食堂や原発問題に取り組むのか。その思いをお話しいたします。

浄土真宗 真宗大谷派

あさくら そう

講師 朝倉 奏 師

新潟市中央区金寶寺住職



プロフィール

金寶寺の長男として生まれる。「寺を継げ」と言われることなく育ち、行政書士を志してキリスト教系の大学へ進学。在学中にハワイ在住の僧侶と出会い、仏教に目覚める。仏教系大学院修了後、オーストラリアへ留学し、習得した英語を活かして現在は寺で地域の子どもたちに英語を教えている。

独身時代はバックパッカーとして世界を巡り、訪れた国は25か国以上。今は僧侶として、日々ご門徒さんとの関わりの中で多くの学びをいただいている。趣味はサーフィン。

令和8年

日時

4月21日(火) 15時~ (16時半終了予定)

※研修会の前に会議を行っております。開場まで少しお待ちいただくことがあります。ご了承下さい。

会場

ホテル泉慶 新発田市月岡温泉453

参加費

1,000円 (当日受付にてお納めください)

申込みQRコード



申込み
お問い合わせ

✉ shibata.souenji1542@gmail.com

TEL 080-1098-7525 (宗像)